

平成 27 年度 長岡市・三島郡生徒指導部 活動報告

部長 植木 志郎

1 研究主題（基本方針）

- (1) 全職員が一体となった校内指導体制の確立をはかり、心の通った指導ができるよう指導・援助する。
- (2) 児童の理解を深め、児童の自発性・自主性、自律性を促す生徒指導ができるよう指導・援助する。
- (3) 学校間や家庭、地域関係機関との連携を密にし、協力して指導に当たる。
- (4) 家庭生活実態生活調査報告「長岡っ子の家庭生活 Vol. 3」から、市内児童の状況を分析し「生徒指導だより」で提言・取組例を示すなど、活用する。

2 研究の概要・実際（主な取組）

- (1) 生徒指導講演会（6月16日：長岡リリックホール・シアター）
演題 「ふるさとを担う人材をどう育てるか」
講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官・生徒指導調査官
国立教育政策研究所 総括研究官・教育課程調査官 長田 徹 様
- (2) 児童交歓会（7月29日：長岡市立劇場、さいわいプラザ）
長岡市内の全小学校の児童会代表が一堂に会する。テーマは「自らの力で自分たちの生活をつくり上げる児童会をめざして～絆を深める取組を中心に～」である。
レクリエーションで他校の児童とも和やかに交流した後、六つの分科会に分かれて「ふわふわ言葉を増やそう」「仲間とのかかわりを深める児童会活動の取組」などの提案発表を受け、話し合いの柱を決めて工夫した取組を紹介し合い、各校の児童会運営の課題をどのように解決していくかについて活発な意見交換を行った。
- (3) 生活指導主任研修会（5月15日：長岡市教育センター、10月21日：長岡市立劇場）
第1回…講話「長岡市の生徒指導の現状と課題」長岡市教育委員会学校教育課
第2回…講話「SNS等の安全な利用について」長岡警察署生活安全課
- (4) 小・中・総合支援学校生徒指導連絡会（10月21日：長岡市立劇場）
1回目は、6月末までに中学校区毎に開催し、年間の取組等について各学校間での情報共有を図った。2回目は、長岡市保護司会の参加も得て10月に開催し、講話「長岡市教育相談の現状と課題」及び地区別分科会で研修や情報交換を行った。
- (5) 小中連携推進事業（教育委員会との連携）
各中学校区では、年複数回の授業公開と研究協議、及び地域住民にも公開する「いじめ見逃しゼロスクール集会」や「地域連携フォーラム」等を実施し、小中が連携して「中1ギャップ」等の課題解消を図っている。各校でも、いじめ見逃しゼロに向けて、生活アンケートや教育相談、縦割り班活動等、様々な活動を展開している。

3 成果と課題

各校では、「学校いじめ防止基本方針」を見直しながら、いじめ防止等のための実効的な取組を推進している。また、不登校や問題行動、発達障害等の課題についても適切な対応に努めている。今後も、各校の校内指導体制の強化に資するためにも、教職員の研修機会の充実及び各校の情報交換や実践紹介等の交流機会の充実に取り組んでいく。

また、「ゲーム・スマホ・SNS市P連ルール」を今年度初めて作成した長岡市小中学校PTA連合会等、関係機関との連携もさらに進める必要がある。